

国籍と教育

世の中 私より物を知らない人はいら

ただ あつたの 白丁だ

と云ふ言ふれは 今の力と自分で生きたり

と云ふし 父や祖父の他来の關係が力な

いし

へい そわりの祖父は力な 日本人

静かに日本人の言ふと云ふは

本場地頭に乗てられた 所先はおと厚く

日本人の言ふと云ふは

その人はだまうていぢが 愚いとも云うは

と云うにとは感じうわやい

国籍籍 と云うにとは少かうするのた

現在外國へ行く時 必要と成る

それ何月何人で 証明だ

国で何かのたう パスポートは必要

戦時中 国で何かのたう 必要

軍 命令が出た

意に反する人を 処置する 必要

その時 国でもとらわぬ

この世に生まれることがないところ  
市役所へ行くと、そんな人はいません  
と存じます

バスボートに乗るから外へも行かれない  
つまり地球人が暮らすのには

地球人ではないと少くも思ふ  
その孤独感  
いい仕事をしたいと思ふ

戦争の予て命令を老人はいない  
国やその人の人権 少人数で暮らす  
戦争があるらしい

現在 国やその人の権利はない

そんなことを 大人が知らず暮らす

そういう人が著述に書かれています

日本の教育でどうやってい

2021  
8/31